



システム構成/環境構築ガイド (Ansible driver 編)

astroll システム 環境構築マニュアル

— 第1.0版 —

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・ LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Oracle、MySQLは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MariaDBは、MariaDB Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

astrollの正式名称は「astroll IT Automation」になります。

目次

| | | |
|---|---|---|
| 1 | はじめに | 3 |
| 2 | 機能 | 4 |
| 3 | システム構成 | 5 |
| 4 | システム要件 | 6 |
| 5 | Ansible driver — Ansible RestAPI 共有ディレクトリ準備 | 7 |

はじめに

本書では、astroll で Ansible オプション機能（以下、Ansible driver）として運用する為のシステム構成と環境構築について説明します。

astroll Ansible driver を利用するにあたっては、astroll 基本機能が構築済であることが前提です。astroll 基本機能の構築に関しては、「環境構築ガイド（基本編）」をご覧ください。

・astroll 基本機能

| 項目 | マニュアル ステップガイド | インストール マニュアル | コンフィグレーション ガイド | システム構成 環境構築ガイド | 利用手順 マニュアル | メニュー作成ガイド | リファレンス マニュアル | サイジング ガイド |
|---------------|------------------|-----------------|-------------------|-------------------|---------------|-----------|-----------------|--------------|
| システム構成 | ○ | | | ◎ | | | | |
| サイジング | | | | | | | | ◎ |
| 動作環境（インストール前） | ○ | | | ◎ | | | | |
| インストール | | ◎ | | | | | | |
| コンフィグレーション | | | ◎ | | | | | |
| 利用手順 | ○ | | | | ◎ | | | |
| メニュー作成 | | | | | | ◎ | | |
| リファレンス | | | | | | | ◎ | |

※○：概要説明 ◎：詳細説明

・オプション機能

| 項目 | マニュアル ステップガイド | インストール マニュアル | コンフィグレーション ガイド | システム構成 環境構築ガイド | 利用手順 マニュアル | メニュー作成ガイド | リファレンス マニュアル | サイジング ガイド |
|---------------|------------------|-----------------|-------------------|-------------------|---------------|-----------|-----------------|--------------|
| システム構成 | | | | ◎ | | | | |
| サイジング | | | | | | | | |
| 動作環境（インストール前） | | | | ◎ | | | | |
| インストール | | ◎ | | | | | | |
| コンフィグレーション | | | | | | | | |
| 利用手順 | | | | | ◎ | | | |
| メニュー作成 | | | | | | | | |
| リファレンス | | | | | | | | |

※○：概要説明 ◎：詳細説明

1 機能

Ansible driver は以下の機能を提供します。

表 1 機能名

| No | 機能名 | 用途 | WEB コンテンツ | BackYard コンテンツ |
|----|-----------------|---|--------------|-------------------|
| 1 | Ansible driver | astroll からサーバ、ストレージ、ネットワーク機器の構成管理を行う | ○ | ○ |
| 2 | Ansible RestAPI | Ansible を外部から操作するための RestAPI を提供するコンテンツ | ○ | — |

2 システム構成

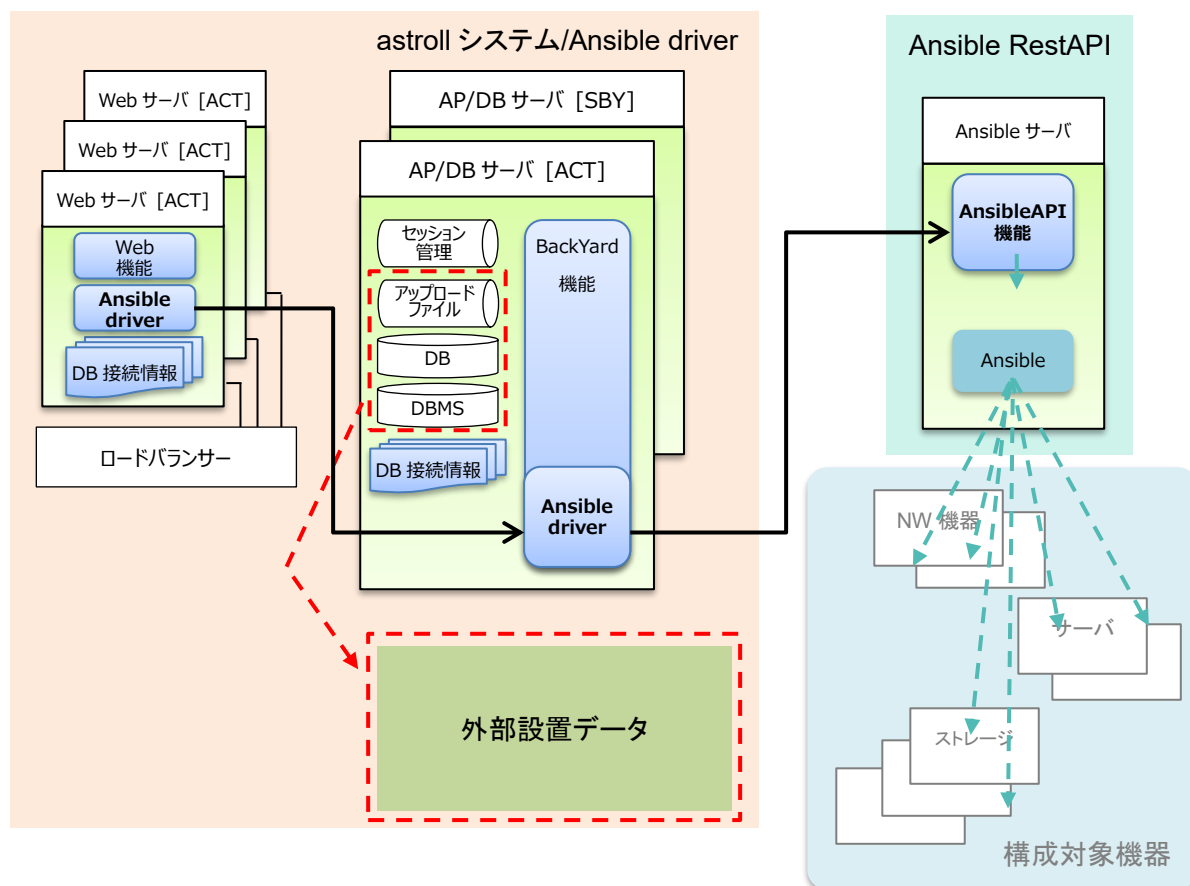
Ansible driver のシステム構成は、astroll システムと同じです。

Ansible RestAPI については、Ansible driver とは別に Ansible 専用サーバを用意する構成が考えられます。

(一つのサーバにコンソリデーションする構成も可能です。)

ここでは、astroll システムの推奨構成であるバランス HA 型に Ansible RestAPI サーバを付加した構成を図示します。

※ ここでは省略した構成図を記載します。詳しくは「環境構築ガイド(基本編)」を参照してください。



3 システム要件

Ansible driver は astroll システムのシステム要件に準拠するため、「環境構築ガイド(基本編)」を参照してください。ここでは BackYard、Ansible RestAPI の必要要件を記載します。

●BackYard

表 4-1.Ansible BackYard システム要件

| パッケージ | バージョン | 注意事項 |
|-------|-------|------|
| PHP | 5.6 | |

表 4-2.Ansible BackYard 必要 Linux コマンド

| コマンド | 注意事項 |
|------|------|
| zip | |

表 4-3.Ansible BackYard 必要外部モジュール

| 外部モジュール | バージョン | 注意事項 |
|----------|-------|------|
| Spyc.php | 0.6.2 | |

●Ansible RestAPI

表 4-4 Ansible RestAPI システム要件

| パッケージ | バージョン | 注意事項 |
|---------|---------------|---|
| Ansible | 2.0 以上 | 1.9.x をご使用の場合は、playbook の書き方にご注意ください。 |
| Python | 2.6 以上 | |
| pywinrm | | Python モジュールです。Yum でインストールできない場合、pip を使用してインストールしてください。 |
| Pexpect | | Python モジュールです。 |
| telnet | － | 構成対象に telnet 接続する場合に必要です。 |
| Apache | 2.2 系 / 2.4 系 | astroll システムと異なるサーバで運用の場合に必要です。 パッケージ/バージョンは astroll システムサーバに合わせてください。 |
| Nginx | 1.9. x | |

表 4-5 Ansible Driver 必要 Linux コマンド

| コマンド | 注意事項 |
|--------|------|
| expect | |

4 Ansible driver – Ansible RestAPI 共有ディレクトリ準備

Ansible driver と Ansible RestAPI が共通で参照するディレクトリを準備してください。

Ansible driver および Ansible RestAPI インストール後、この共有ディレクトリを astroll システムに登録する必要があります。「システムリファレンスマニュアル (Ansible driver)」の「インターフェース情報」を参照し、登録を行ってください。